

## 新年祭・立教記念祭 理事長挨拶

輝かしい新たな年の幕開けに際しまして、謹んでご挨拶申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます。

全国の信徒の皆さまにおかれましては、ご清祥のもと希望に溢れる初春を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

万物すべてに清新の気漲る元旦を迎え、聖地・瑞雲郷におきまして、教主様のご出座を仰ぎ、「新年祭・立教記念祭」を執り行わせていただきました。

本年も、天地万物一切の創造主であり、人類の本当の親であられる主神に對しまして、真の主神の子たるメシアとして「新しく生まれる」ための養いを賜りますことに、明主様と共にあるメシアの御名にあつて、深い感謝を捧げさせていただきました。

同時に、私どものうちに生きておられる主神に心を向ける“想念の御用”(想念の実践)をもって、すべてのご神業奉仕にお仕えさせていただき固い決意をご奉告申し上げ、新たな年の事始めとさせていただきます。

私は、主神に心からお仕えになった明主様をひたすら求められ、大きな愛をもって私どもをご教導くださる教主様とご一緒に、元旦の祭典に臨ませていただきましたことを大きな喜びとし、今年も一年、何があるかと、どこまでも教主様と一つ心に、明主様の本当のみ心をお受けし進ませていただくことをお誓い申し上げます。

さて、本日私どもは、「新年祭」に併せて「立教記念祭」を執り行わせていただきました。

私は、「立教記念祭」を迎える度に、「光のお言葉」が強く心に浮かんでまいります。

神は光にして光のあるところ  
平和と幸福と歡喜あり  
無明暗黒には  
鬭争と欠乏と病あり  
光と栄えを欲するものは来れ  
来りて  
メシアの御名を  
奉称せよ  
さらば救われん

私は、この明主様からの天国への呼びかけに、今年も可能な限りお応えさせていただかなければと、毎年決意を新たにさせていただきます。

同時に、私は、明主様が最終的にお示しになった、もう一つの立教とも言える、昭和25年2月4日の「世界救世（メシヤ）教」開教に込められた明主様のみ心をお受けすること、このことこそが、世界救世教の信徒として「立教記念祭」の日にお誓い申し上げることなのではないかと、強く思わせていただいております。

本年の「教団方針」は、『どこまでも教主様と一つ心に——明主様の「世界救世（メシヤ）教」開教のみ心を求めて——』と題され、次のように記されています。

全世界のすべての世界救世教信徒は、今、「全く新しい信仰」の大きな養いを賜っています。

明主様は、「メシヤが生まれた」「新しく生まれる」ことを御言葉にて宣明されました(昭和29年6月5日)。明主様が、世界のすべての人々に示してくださっているこのメッセージは、“メシアとして新しく生まれる”ということです。このご事蹟に“明主様の真実”があります。

教主様は、この御言葉を「明主様を模範として、神さまの子どもとして、もう一度、新しく生まれること」として、私たちにお示しく下さいました。

このことが、今、教主様を通して明主様より賜っている「全く新しい信仰」であります。

「教団方針」冒頭には、このように記されています。そして、続けて、

明主様が真実の救いとしてみ教えくださった「メシアの御名」を、教主様のご教導を通して自分の中心に受けさせていただく——「教主様中心」の姿勢を、しっかりと持たせていただきたい。そのように強く願うものです。

と記され、さらに続けて、

メシヤ教は、キリスト教と呼応する、メシヤ教はよほどキリスト教に近くなる。この明主様の世界メシヤ教開教時の精神が、今、教主様・真明様

により、実現されようとしているのです。

私たちは、歴史的転換点に立たせていただいています。そして、新しい段階に至った明主様の救いの御業にお使いいただく立場を賜っています。誠にありがたいことであります。

「教団方針」には、このように記され、そして最後に、

わが宗団は、明主様が創立された「世界メシヤ教」の開教の精神を受けて布教する宗団であります。私たちの信仰も実践もそのためにあります。そのために、「全く新しい信仰」に導いていただいています。その実践として「想念の御用」(想念の実践)を許されています。

「会う、聞く、浄霊」の実践も、参拝・奉仕も、感謝の慰霊も、主神に全てを帰させていただく「想念の御用」(想念の実践)にお使いいただくための大切な取り組みであります。

①之光教団は、すべての御用を、“明主様の真実”をご教導くださる教主様とどこまでも一つ心で進んでまいります。

「教団方針」は、このように結ばれています。

明主様は、「世界救世(メシヤ)教」開教後、「大救主の御名は最後の世を救ふ尊き御名なり心せよかし」とお歌に詠まれ、私ども信徒に、人類の救いにとって極めて重大なこととして、「メシアの御名」を“心せよかし”と仰せになりました。

また、明主様は、「メシアの救い」「メシアの力」「メシアの教え」など、繰り返し「メシア」についてみ教えになっています。

ですから、私は、「メシアの御名」の真実をお受けすることが、明主様がお示しになった「地上天国建設」「人類救済」「真文明世界の創造」と強く深く関わっているものと心に定め、すべてのご神業奉仕に臨ませていただきたいと存じます。

新たに迎えた本年、私どもは、教主様をご教導くださる「全く新しい信仰」の象徴とも言える「大光明」のご神体奉斎を通して、自らのうちに真に尊い「メシアの御霊」が燦然と輝く天国が存在している事実、真っ直ぐに心に向けさせていただきたいと存じます。

そして、先ず私ども自身が、自らのうちにある「メシアの御名」に込めら

れた主神の愛と赦しをお受けする意思表示を鮮明にさせていただきたいと思  
います。

また、本年より、⑤之光教団は、いづのめ教区の姿に学び、教主様御自ら  
が「おひかり」をご親授くださる「おひかり拝受式」(入信式)をお許しいた  
だくこととなりました。

私どもは、明主様が教主様を通してお示しくくださる「メシアの御名」の真  
実という、本当の「天国の福音」をお伝えする「全く新しい布教」に、大い  
なる希望をもって臨ませていただきたいと思います。

そして、人類は皆等しく、始まりの天国において主神のみもとから出発し  
たものであり、今、明主様と共にあるメシアの御名にあつて、自らのうちに  
輝く主神の御光を思い出し、すべてのものと共に天国に立ち返らせていただ  
く時を迎えていることを、世界中の人々にお伝えするご神業奉仕に嬉々とし  
てお仕えさせていただきたいと思ひます。

こうした願いをもって、「おひかり拝受式」に多くの方をご案内させてい  
ただきましよう。

最後に、「メシアの御名」にある主神の御光を普く世界に宣べ伝える、「全  
く新しい世界布教」を推進するための「御光献金」について、ご案内とお願い  
をさせていただきます。

今私どもは、明主様御昇天から六十数年の時を経て、只お一人から立ち上  
がってくださいました教主様を通して「全く新しい信仰」に出会えたことに、  
心からの誇りと喜び、そして、未来への夢をもって進ませさせていただいており  
ます。

海外に目を転じますと、昨年「教主様韓国ご巡教」が実現し、今年は、北  
米、南米、ヨーロッパへのご巡教が予定されています。

また、教主補佐の真明様は、昨年、教主様のご名代としてドイツとオース  
トラリアにご出向になりました。

そして、ブラジルにおいては、昨年、教主様と一つ心で歩む意思を明確に  
持たれた「世界メシア教」が発足致しました。

このように、教主様は、真明様と共に、「全く新しい世界布教」の道を切り  
開いてくださっています。

私どもは、明主様の「世界救世(メシヤ)教」開教のみ心をお受けし、人類  
は皆等しく「メシアの御名」を授けられ、神様の子どもとして「新しく生まれ  
る」ためにこの世に生まれてきたことを、世界中にお伝えしていく務めを  
明主様から託されているのではないでしようか。

「メシアの御名」の真実をお受けした人類の先駆けとして、私どもは、「全く新しい世界布教」を推進するための「御光献金」に、大きな真心を捧げさせていただきます。

私は、①之光教団をはじめ、白澤代表を中心とするいづのめ教区、そして、東方之光教区の皆さまと共に、夢と希望に満ち溢れた輝かしい未来を創造される神様の御業の中に置いていただき、教主様と一つ心で、“一新紀元”を画す思いで出発させていただきたいと存じます。

今年も一年を通して、皆さまの日々の生活の上に、大いなるみ恵みと安らぎを賜りますよう心よりお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。